

検証の進捗状況について

令和3年2月
厚生労働省

検証の進捗状況(全体)

第1回検討会での指摘及び検証WG等の設定にあたり、有識者の意見を踏まえ、以下の通り再編成して各々進めている。

○原爆由来の放射性物質を確認する課題

気象シミュレーション

地域の土壌調査

原爆投下時の気象状況等に関する
文献等調査

祈念館における体験記調査

- 気象シミュレーションの検証のために土壌調査は必要不可欠であることから、一体として作業を行う。
- 複数の専門家で構成されるWG方式で実施。

- 公募により選定した委託業者にて文献のリスタ化を行う。

- 増田構成員の指摘を踏まえて設定。
- 広島祈念館にて調査を行う。

○健康影響が生じているか確認する課題

広島赤十字・原爆病院における
カルテ調査

- 広島赤十字・原爆病院にカルテの調査を依頼。

相談支援事業受診者の疾患罹患状況の統計解析、アンケート調査

- カルテ調査の結果も踏まえて調査方法を設計予定。
- 複数の専門家で構成されるWG方式で実施。¹

検証の進捗状況(個別)①

○原爆由来の放射性物質を確認する課題

気象シミュレーション＋土壌調査

- 入札の結果、国立大学法人京都大学と契約を締結(R2.12.28)。
- 京都大学、広島大学、長崎大学の三大学連携の元、これまで実施された科学的調査の総括を行い、気象シミュレーションの実効性を担保するための諸条件・方法論について整理を行う。
→本日資料2-3で報告

原爆投下時の気象状況等に関する文献等調査

- 公募の結果、株式会社ニチマイに委託を決定(R3.2.3)。
- 新型コロナウイルス流行下であるため、米国公文書館の実地調査は困難(閉館しているため)。
- 年度内は、同館の目録をインターネット上で検索し、可能性のありそうな資料についてリスト化を進め、開館次第現物の入手ができる体制を整える。

祈念館における体験記調査

- 体験記のデータベース化を実施している広島祈念館に調査を依頼(R2.12.24)。
- 祈念館で保管している被爆体験記約15万件を対象に、本検証の対象と考えられる体験記約6千件を抽出し、内容を確認中。

検証の進捗状況(個別)②

○健康影響が生じているか確認する課題

広島赤十字・原爆病院におけるカルテ調査

- 広島赤十字・原爆病院にカルテの調査と当検討会への報告を依頼(R3.1.28)。
- 現時点で、判明しているのは以下のとおり。
(詳細は取りまとめ次第本検討会にて報告予定)
 - 同院が保管しているカルテは、被爆者健康手帳を所持している方のもの
 - このなかで、雨に曝露した記載がある者は100名弱
 - これらを踏まえ、雨に曝露歴のある被爆者とそれ以外の入市被爆者との間で、被爆直後の症状や被爆40年以降の疾病状況の比較などを作業中

相談支援事業受診者の疾患罹患状況の統計解析、アンケート調査

- 広島・長崎で過去に実施された調査と同様の手法を用いた調査方法について、有識者の意見を収集中。
- 上記広島赤十字・原爆病院におけるカルテ調査の結果も考慮に入れた調査方法を検討。